

Tea Time

ティー・タイム



楽しい歳時記

5月 (皐月) さつき

田植えの月。田の神を迎えて祭る月です。それともゴールデンウィークの月というほうが今日的でしょうか。

気温20度、湿度65%、微弱な風というのが日本人が一番気持ちいいと感じる気候。5月はまさにその季節です。

八十八夜

立春から数えて88日目。おそ霜が降りると農作物の被害が出ることもありますが、八十八夜からはおそ霜も降りることがないから「八十八夜の分かれ霜」といい、農業上の大事な時期となっています。

小学唱歌で「夏も近づく八十八夜」と歌われるように、茶摘みも始まる時期です。八十八夜に摘まれた茶は極上品とされ、縁起のいい18の字が重なることから、この茶を飲むと長生きするともいわれています。新茶を飲んでご利益がますます...



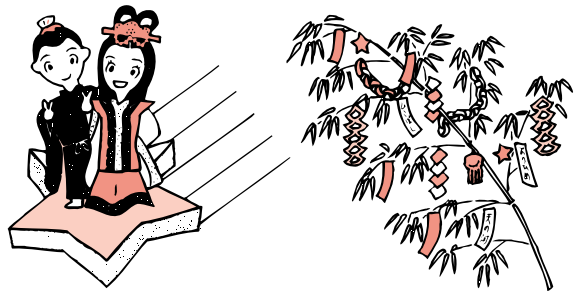
7月 (文月) ふみづき

梅雨が明けると急に気温も上昇し、いつのまにか夏に。子どもたちにとって待ち遠しい夏休みが始まります。また各地で夏祭りが賑やかに行われます。

七夕

七夕というと織姫と彦星の伝説を思い浮かべますが、日本には奈良時代に中国から織姫伝説が伝わって来ました。また、元々は盆を迎えるための祓いの行事だったという説があります。そう言ったことが重なり合って、今日のような七夕になったようです。

旧暦の7月7日は、新暦では8月初旬頃。仙台の七夕のように最初から1ヶ月ずらして行うところもあります。なお、願い事を書いた短冊や折り紙の飾りを付けた笹竹は、6日、軒先に飾り、7日の夜には取り外します。昔は川や海に流すのがしきたりでした。



*ひと口メモ

紫陽花 (あじさい)



梅雨に入る頃、球状の花を咲かせます。最初は白っぽい色、次第に青色になり、やがて赤みがかって紫色に。このため地方によっては七化けと呼びます。

MEMO

 富士火災海上保険株式会社

担当